



昭和十六年
一月

幼児の 母

おめでたう

お子さん方、いゝ年をお加へになりまして、おめでたうございます。一年にたつた一つづゝしか増さないのが物足りなくお思ひになることも知れませんが、その一つが、なんといふすばらしい一つでせう。なんといふ貴い一つでせう。特に行きさき長い希望を含む豊かな一つであることを思ふと、誠におめでたいことでございます。

— その一つづゝが、日本中の子どもさん、ほんとうに一人残らず公平に行きわたることも、なんとおめでたいことでせう。いくらいゝことでも、わが子ひとり

の事で、日本中いつしよでなくては、心底おめでたいとはいへません。さうぞ、日本中はかりでなく世界申一列でしたね。が日出づるこの國にこそ新年の朝も早く明けるのです。すなはち、先づ明けておめでたうでございます。

それにしても、お子さんの歳は、去年の一つも、今年の一つも、お母さんの御丹精で過ぎ、御計畫で迎へられないものはありません。その意味で、子ども達の歳こそ母のものです。母の手柄に歸すべきものです。お母さん方、ほんとうにおめでたうございます。

お子さんおめでたう。
お母さんおめでたう。

幼稚園から

○お正月はいゝ習慣をつけるのに、機會です。お宅でもいろゝの御計畫がありませうが、幼稚園としては、登園の時間を一定させること、遅れないやうにといふこともその一つです。それには、起床時刻の一定。そのためには、前夜の就眠時刻の一定。その出来るためには夜更しをしないこと。みんな大事な習慣ですが、お正月と夜更かし。御注意々々。

○朝出る時に「行つて参ります」。歸つた時に「たと今」。——これは禮儀作法といふばかりでなく、気分をしやんとさせ、引き立たせるものです。こゝにいふ、多少あらたまつたことも、お正月につけるにゝ習慣です。子どもさんのことです。そうゝきちやうめんなこともいりませうが、此の極く簡単なことは、癖にならばなんでもないことです。まあ鞍の第一歩ともいひますか。御實行々々。